

柔道

- 1 主 催** 新潟県中学校体育連盟
- 2 共 催** 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 公益財団法人新潟県スポーツ協会
新潟県柔道連盟 上越地区柔道連盟 新潟日報社
- 3 主 管** 上越地区中学校体育連盟 上越市中学校体育連盟
- 4 後 援** 上越市
- 5 期 日** 令和7年7月19日（土）・20日（日）
- 6 日 程**
- | | | |
|--------|----------------|------------------|
| 19日（土） | 開場 | 8：30 |
| | 代表者・審判会議 | 9：45 |
| | 選手整列 | 10：25 |
| | 開会式 | 10：30 |
| | 競技開始 男女団体戦決勝まで | 11：00 |
| | 競技終了予定 | 15：45 |
| | | |
| 20日（日） | 開場 | 7：55 |
| | 代表者・審判会議 | 9：00 |
| | 競技開始（男女個人戦全階級） | 9：45 |
| | 競技終了 | 15：00 |
| | 閉会式 | 15：10 |
| | 会場復元 | 15：40 |
| | 会場復元終了予定 | 16：40（出場校は畠撤去のみ） |
- 7 競技会場** 県立武道館（謙信公武道館）
- 8 競技種目** 男子・女子団体戦、男子・女子個人戦
- 9 競技規則** 国際柔道連盟試合審判規定、国内における「少年大会特別規定」（いずれも2025年改正版）、及び日本中体連柔道競技部主催大会申し合わせ事項、本大会申し合わせ事項（教育的配慮事項等）による。また、柔道衣点検で合格した柔道衣を着用し、競技を行う。
- 10 競技方法**
- (1) 団体戦
- ① 登録人員（男子）監督1名 コーチ1名 選手5名 補員2名 計9名
(女子) 監督1名 コーチ1名 選手3名 補員1名 計6名
 - ② 試合形式（男子）選手5名による点取り方式とする。
(女子) 選手3名による点取り方式とする。
 - ③ 試合時間は3分間とし、代表戦において3分間で決着がつかない場合、時間無制限の延長戦（ゴールデンスコア、以下表記：G S）で決定する。
 - ④ 審判は1人審判制で行う。ただし、3審制で行う場合もある。
 - ⑤ 試合方法
 - ア 男女団体戦
 - トーナメント戦とする。ただし、地区大会結果や実績を考慮し、シード制をとる。
組合せは申込終了後、準備会にて抽選を行う。
 - イ 選手編成は、男女ともに体重の最も重い者を「大将」とし、以下順次体重順に編成する。選手を補員に変更し補充する際も、体重順に従って選手を並べ替える。
 - ウ チーム人員が男子5名（女子3名）に満たない場合においては、不足人員分は「不戦敗」とする。人員不足で対戦する場合、対戦順の早い者の側を空けて、「不戦勝ち」

- を相手に与える。（先鋒から順に空けていく）不戦勝は、一本勝ちと同等とする。
- エ メンバー登録後に事故者があり、7月19日（土）当日の朝、登録人員に満たない場合は、代表者会議において登録メンバーの補充を申し出ることができる。選手補充にあたっては、当該校長、または当該地域スポーツ団体責任者の発行した選手変更届（事前に専門部より配付）を代表者会議前に専門部長へ提出する。代表者会議後のメンバーの補充は認めない。
- オ 事故等により試合を一度退いた選手は、その後の団体戦には出場できない。ただし、2日目の個人戦には出場できる。
- カ 計量で同一体重の選手がいた場合は申込時の配列で試合を行う。よって、補員を含め必ず体重差がわかるように申し込むこと。
- ⑥ 勝敗の判定基準は次の通りとする。
- ア 勝敗の判定基準は「一本」・「技有」・「有効」・「僅差」とする。
- ◎「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（有効）が無い、又は同等の場合に「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による勝ちとする。1差以内であれば「引き分け」とする。
- イ 男女団体戦における代表戦は、その試合に出場した任意の選手を選び、試合（3分間）を1回のみ行い、勝敗がつかなかった場合は、G Sで勝敗を決する。代表戦の勝敗の判定基準は、個人戦と同様とする。
- エ 順位決定は次の通りとする。
- | |
|-----------------------------------|
| ① チーム間における勝ち数による。 |
| ② ①において同等の場合は、「一本勝ちの多いチーム」を勝ちとする。 |
| ③ ②において同等の場合は、「技有勝ちの多いチーム」を勝ちとする。 |
| ④ ③において同等の場合は、「有効勝ちの多いチーム」を勝ちとする。 |
| ⑤ ④において同等の場合は、1名による代表戦により決定する。 |

（2）個人戦

- ① 試合形式は男女各階級とも16人によるトーナメント方式で行う。原則として同地区の選手が1回戦で対戦しないようにする。ただし、地区順位が低い選手（5位以下）や補充選手については、1回戦から同地区が対戦する場合もある。
- ② 試合時間は3分間とし、延長戦（G S）は無制限とする。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」・「技有」・「有効」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無く指導差が1以内の場合はG Sにより勝敗を決する。G Sにおいて「最初にスコアを得た選手が勝ち」又は「指導差が上回った時点でその選手の負け」となる。
- ④ 両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、G Sにより勝敗を決する。さらに両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、次の試合者は抽選で決める。決勝戦の場合は、G Sによる再試合を行う。
- ⑤ 準決勝戦敗退選手による北信越大会出場決定戦を行う。

11 参加資格

- （1）① 中学校においては新潟県内の中学校に在籍し、当該校長が承認した生徒。
- ② 地域スポーツ団体においては新潟県内に所在地を置き、令和7年度内において新潟県柔道連盟を通して、全日本柔道連盟に加盟し、チームとして「団体登録」、競技者として「競技者登録」を済ませていること。また新潟県中学校体育連盟の承認を受けていること。
- ③ その他詳細については、「令和7年中学校体育大会地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の参加特例における競技部細則（令和6年10月11日「公財」日本中学校体育連盟発出）による。

（2）①男子団体戦

新潟地区	下越地区	中越地区	上越地区	実績枠	合計
5	4	3	2	2	16

※実績枠は各地区大会、前年度県新人大会の結果を参考に決定する。

②女子団体戦 オープン参加

（3）個人戦

①男子体重区分

50kg 級、55kg 級、60kg 級、66kg 級、73kg 級、81kg 級、90kg 級、90kg 超級

②女子体重区分

40kg 級、44kg 級、48kg 級、52kg 級、57kg 級、63kg 級、70kg 級、70kg 超級

③各地区出場枠は、男女各階級とも以下の通りとする。

新潟地区	下越地区	中越地区	上越地区	実績枠	合計
5	4	3	3	1	16

※実績枠は、前年度県新人体重別大会優勝者所属地区から1名とする。

④地区大会参加申込時に県大会参加人数に満たない地区・階級がでた場合は、専門部で協議し、補充分を各地区に割り当てる。

(4) 学年間わず、6ヶ月以上の柔道経験を有する者。

**12 計量
及び
柔道衣点検**

(1) 団体戦

① 7月19日(土) **9:00～9:30**に大会会場において行う。

② 計量は1回のみとし、服装はTシャツ、下穿きとする。

③ 計量、柔道衣点検を受けない者は失格となる。

(2) 個人戦

① **7月19日(土) 9:00～9:30**に大会会場において、団体戦の計量後に行う。
ただし、20日(日) **8:15～8:45**にも計量を行うことができる。19日(土)
に合格した者は20日(日)に計量はない。

② 時間内ならば何回行ってもよい。服装は団体戦と同じとするが、全裸などで計測しなければならない場合には、事前に申し出て別室で行うこととする。

③ 計量、柔道衣点検を受けない者、また、個人戦の規定に合わない者は失格となる。

※ 両日とも計量開始15分前を予備計量時間とする。

(3) 柔道衣点検

① 男女とも初日は開始式終了後、2日目は競技開始前に一斉に行う。

② 規定にあった柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。合わない場合は失格になることもある。

③ ゼッケン(チーム名・名字入り)は、柔道衣に規定通りにミシン等でしっかりと縫い付けて出場する。(下記を参照)

【ゼッケンについて】

ア 布地は白。サイズは横30～35cm、縦25～30cm。

イ 名字は(姓)は上側2/3、チーム名は下側1/3。

ウ 書体は太字ゴシック体(明朝体又は楷書でもよい)、男子は黒色、女子は濃い赤色。

エ 縫い付ける場所は襟の下から5～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

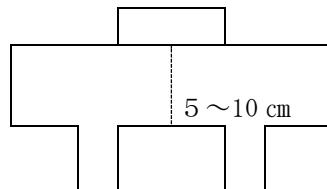
【規格】

縦

25～30cm

捧

藤見



横：30～35cm

④ 柔道衣の胸の刺繡はチーム名もしくは無地とする。

⑤ 女子は、上衣の下に白無地半袖丸首シャツ、またはレオタード等(白色)を着用すること。Tシャツのマーキングについては全柔連の規定に準ずる。氏名が入っているものは着用できない。

13 表彰

(1) 団体戦

① 1位に優勝旗、優勝杯、2位には準優勝杯(長沢杯)を授与する。(持ち回り)また、メダルを授与する。

② 3位まで賞状を授与(個人賞状も与える)。ただし、3位は2チームとする。

(2) 個人戦

- ① 各階級上位8位までに賞状、1位にメダルを授与する。
- ② 準決勝敗退者同士で北信越大会出場決定戦を行う。

14 申し込み

地区大会前に下記の必要書類を作成し、地区大会に持参する。県総体への出場が決定したチームは地区大会2日目に手続きを完了する。

(1) 県大会申込書（校長職印または地域スポーツ団体責任者印）**A4版**で印刷

(2) 参加料納付書

(3) 参加料（1人1,000円）

必要なチームは以下の書類を提出する。

(4) 宿泊申込書

(5) 指導者承認書

(6) その他、必要書類

(7) 県大会参加申込後に監督等を変更しなければならない場合は、「監督変更願」を事前に大会事務局に必ず提出すること。

15 その他

(1) 本大会は全国大会、北信越大会の予選を兼ねる。

(2) 男女団体戦1位は全国大会、北信越大会に、2位は北信越大会に出場できる。

(3) 男女個人戦各階級1位は全国大会、北信越大会に、2位、3位（1名）は北信越大会に出場できる。

(4) 監督、コーチ、外部指導者は、審判員に準じた服装をすること。ジャージ等は認めない。

(5) マナーの悪い監督、コーチ、外部指導者、保護者がいる場合は会場から退場してもらう場合がある。

(6) 監督、コーチ、外部指導者によるコーチングは、登録があるチームや選手に対してのみとする。

(7) 1日目終了後、審判会議を行う。

(8) 学校部活動における外部指導者登録については、下記の定めるところにより所定の手続きを行う。

外部指導者は、当該校の校長が認めた者であること。なお、コーチが当該校教員以外の場合は指導者承認書を提出すること。

ただし、中学校教員は他校の外部指導者（コーチ）にはなれない。

(9) 北信越大会の申込受付、全国大会申込説明を本大会2日目終了後行うので、出場資を得たチームの監督は必ず参加すること。

(10) 大会2日目に会場復元を行います。その際、参加チームは畳撤去作業だけで結構ですので、できるだけ参加して下さい。ご協力お願いします。

(11) 自然災害等で大会が開催できない場合における上位大会進出チーム（者）については、R6年度BSN中学校柔道選手権大会、R6年県中学校新人柔道体重別大会、R7年度各地区大会の結果を踏まえて専門部で選出する。